



INFORMATION OF THE DISEASE FOR ALL TRAVELERS



南アメリカへ旅行される方へ

ブラジル・アルゼンチン・ペルー・コロンビア・
ベネズエラ・ボリビア・エクアドル・パラグアイ・
チリ・ウルグアイなど

この地域は北部からブラジル、パラグアイ、ペルーまでの熱帯地域と、アルゼンチン、チリなどの温帯地域によりなっています。また、アンデス山脈が南北に連なり様々な自然を形成しています。とくに熱帯地域では、蚊などの虫による感染症が大きな問題になっています。またこの地域の多くの国で黄熱の予防接種が必要です。

注意したいこと



◎ 虫 に注意



ネッタイシマカ、ヒトスジシマカなどの蚊は、マラリア、デング熱、黄熱などの感染症を媒介し、サシチョウバエやサシガメといった吸血性の昆虫はリーシュマニア症やトリパノソーマ症を媒介します。長袖長ズボンを着用し、防虫スプレーで防虫を心がけましょう。

◎ 生 野 菜 ・ 果 実



熱帯のフルーツは旅の楽しみのひとつです。皮のあるフルーツは一般に安全な食べ物と考えられます。できるだけむきたてを食べるように心がけましょう。冷蔵設備が整っていない店でのカットフルーツは危険です。野菜は加熱調理したものを摂るようにしましょう。

◎ 生 水 ・ 氷 ・ 生 も の



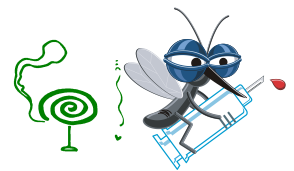
水道水は、地方ではもちろん、都市部でも、必ずしも安全ではありませんので、飲用には沸騰させた水かミネラルウォーターを使用して下さい。消化器系の感染症やウイルス性肝炎などは一年を通して発生しています。また、加熱不十分な魚介類を摂取することで、寄生虫に感染することがあります。生ものを食べることは避け、十分加熱されたものを冷めないうちに食べるようにしましょう。

◎ 狂犬病に注意



狂犬病は非常に危険な病気です。犬だけでなく猫やサル、コウモリなどウイルスを持っている哺乳動物に噛まれたり、傷口、眼や口の粘膜をなめられることで感染する病気で、発症した場合には死に至ります。動物にはむやみに手を出さないようにし、噛まれた場合はすぐに傷口をきれいな水と石鹸でよく洗い、すぐに狂犬病ワクチンの暴露後接種を受けてください。

黄熱について..



・黄熱は、蚊によって媒介されるウイルス性の感染症です。突然の発熱で発症し、寒気、頭痛、嘔吐、関節痛、筋肉痛などの症状が出ます。死亡率は、60%以上になることがあります。

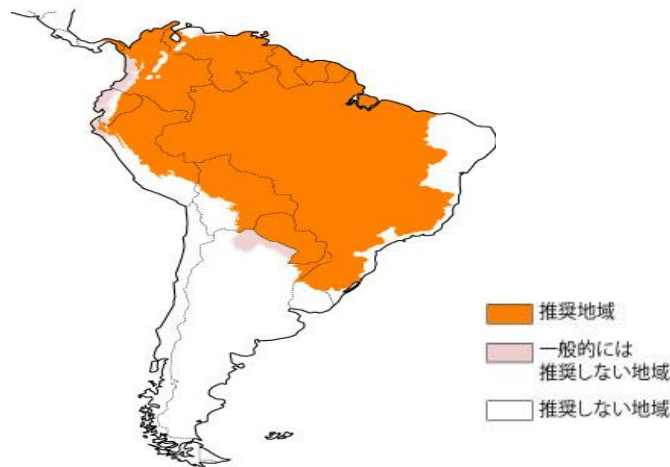
・黄熱に感染する地域の多くは、マラリアやデング熱などの蚊によって感染する病気の流行地でもあります。予防接種を受けても、蚊に刺されないように予防する必要があります。長袖・長ズボンを着用しましょう。虫よけスプレーやローションなどを使用しましょう。国内で販売されているものは、有効成分の濃度が低いので、海外で高濃度の製品を入手する方が、持続時間も長く、効果的です。

・黄熱に感染する危険のある地域に入国する前に、黄熱の予防接種をおすすめしています。1回の接種で、接種後10日目から10年間有効です。詳しくは検疫所へお尋ね頂るか、下記URLをご参照ください。

<http://www.forth.go.jp/useful/yellowfever.html>



南アメリカ地域の黄熱予防接種の推奨地域(2012WHO)



各国の医療機関は..

・外務省 世界の医療事情(下記URL)をご覧ください。

<http://www.mofa.go.jp/mofaj/toko/medi/index.html>



詳しくは..

渡航前の予防接種相談・感染症情報や渡航後の健康相談など、ご意見ご質問があればお気軽に最寄りの検疫所までご連絡ください。

また帰国時に体調不良等があれば、健康相談室へお寄りください。

厚生労働省検疫所
FORTHホームページ
<http://www.forth.go.jp>



楽しいご滞在を～HAVE A NICE TRIP～